

秋田港・能代港 再生可能エネルギー導入検討協議会

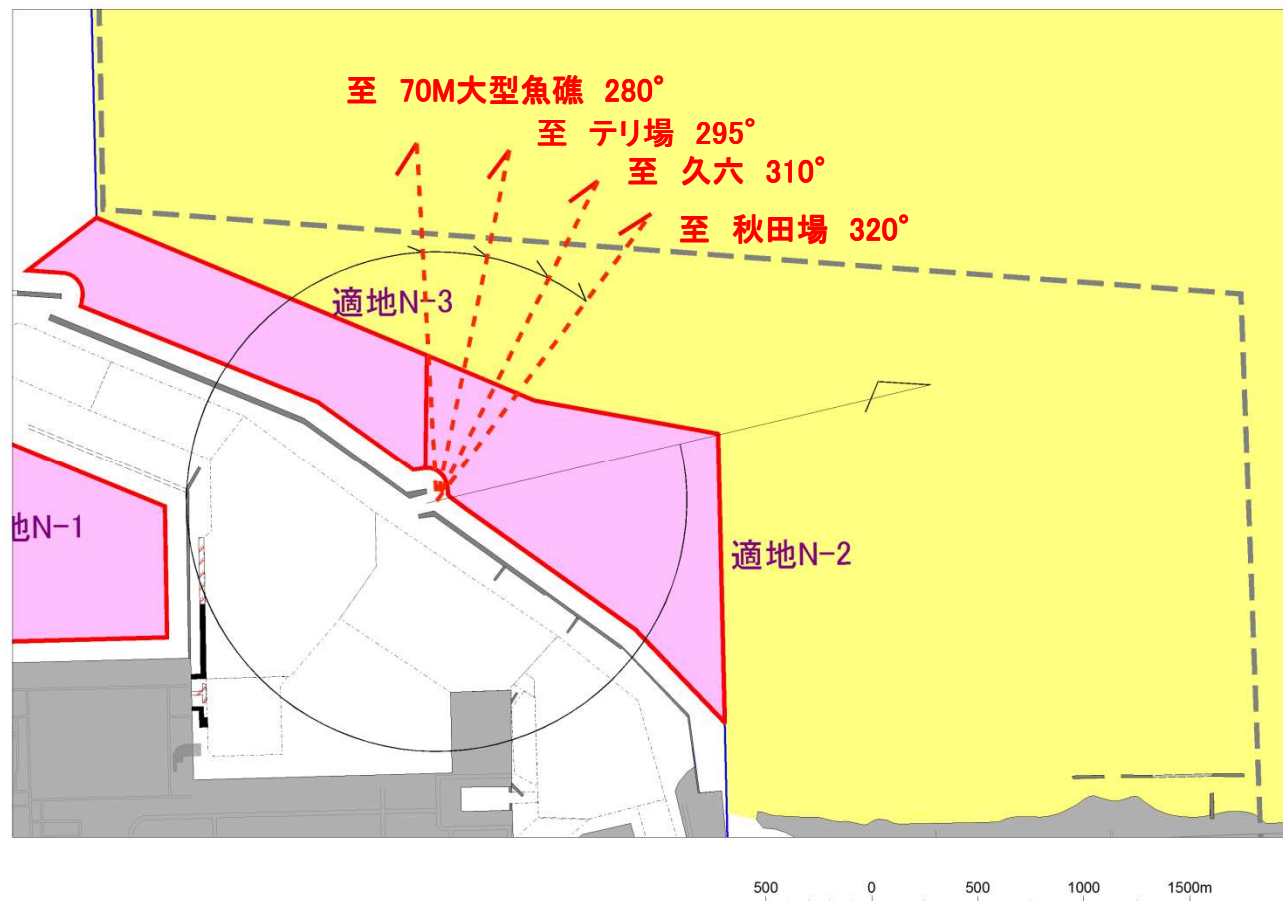
【追加提案資料】

第3回 平成26年3月14日

秋田県

(1) 能代港 防波堤開口部の適地除外について

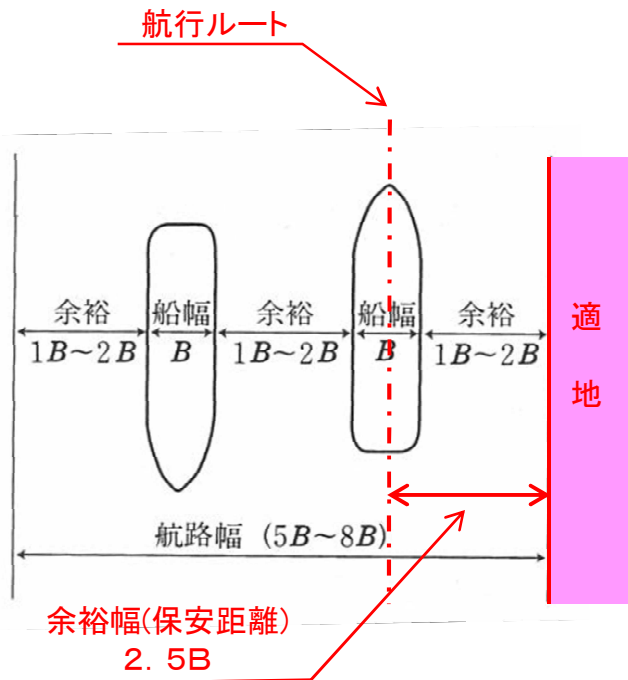
能代港を利用する小型船の関係者から、防波堤開口部について、日常的に利用する4方向への航行ルートを確認できるように、適地から除外する提案があった。



(2) 適地除外する範囲の設定方法

漁港・漁場の施設の設計の手引きより、設定した航行ルートと適地の余裕幅(保安距離)を $2.5B$ (B :船幅)とし、 15m とする。

余裕幅(保安距離)の考え方



適地までの余裕幅(保安距離)は漁港の航路幅の考え方を基に、余裕を上図より $2B$ とし、航行ルートからの距離として、船幅の $1/2$ を足した $2.5 \cdot B$ とする。

余裕幅(保安距離)の設定

船幅	漁船	5.5m	※1
	プレジャーボート	5.4m	※2
余裕幅		$2.5 \times 5.5\text{m} = 13.75\text{m}$ 丸めて15m	

※1 漁船の船幅

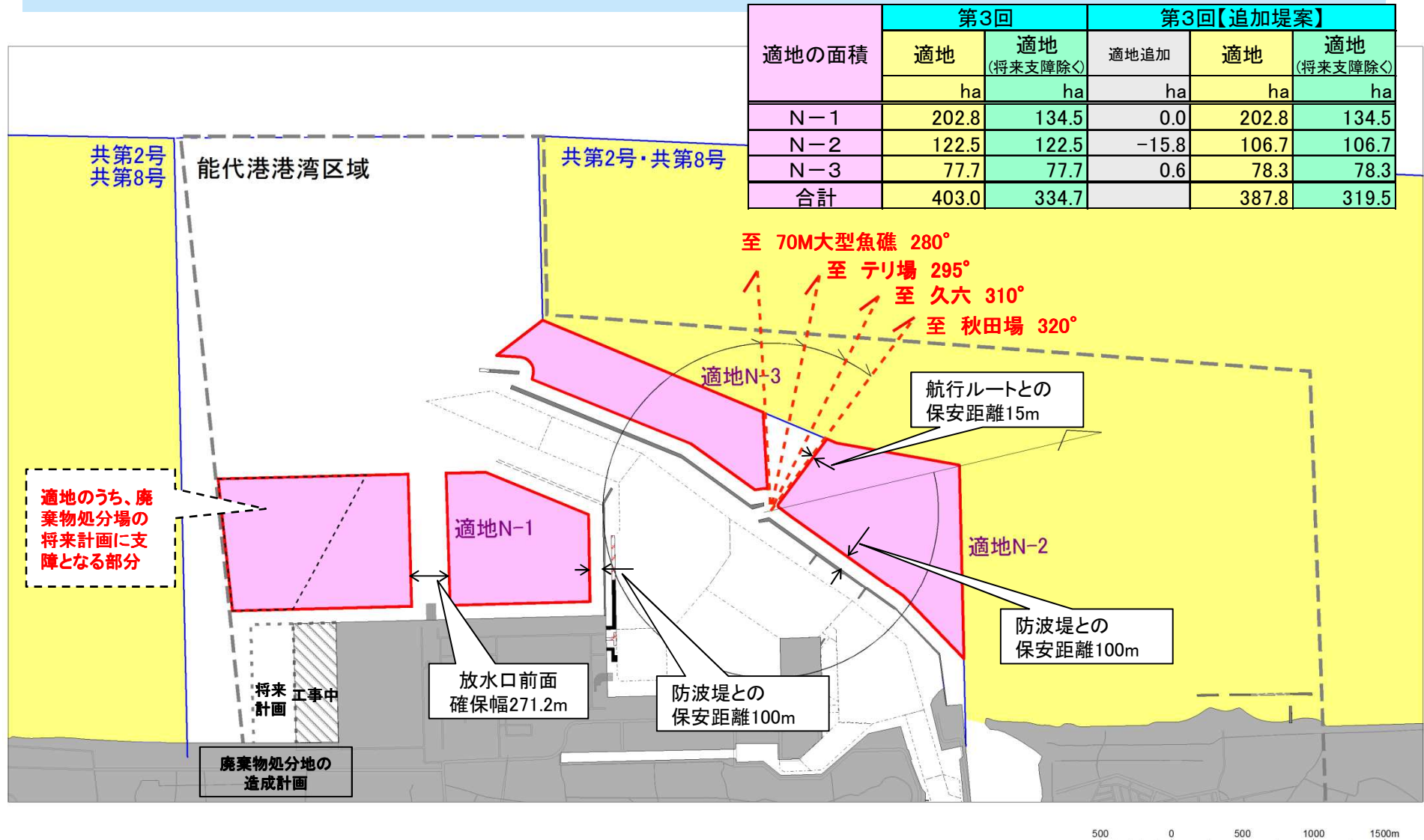
「漁業センサス2008」より、能代市、八峰町、三種町に登録されている漁船の最大船型は50t型であり、50t型の船幅を「漁港・漁場の施設の設計の手引き」より5.5mとした。

※2 プレジャーボートの船幅

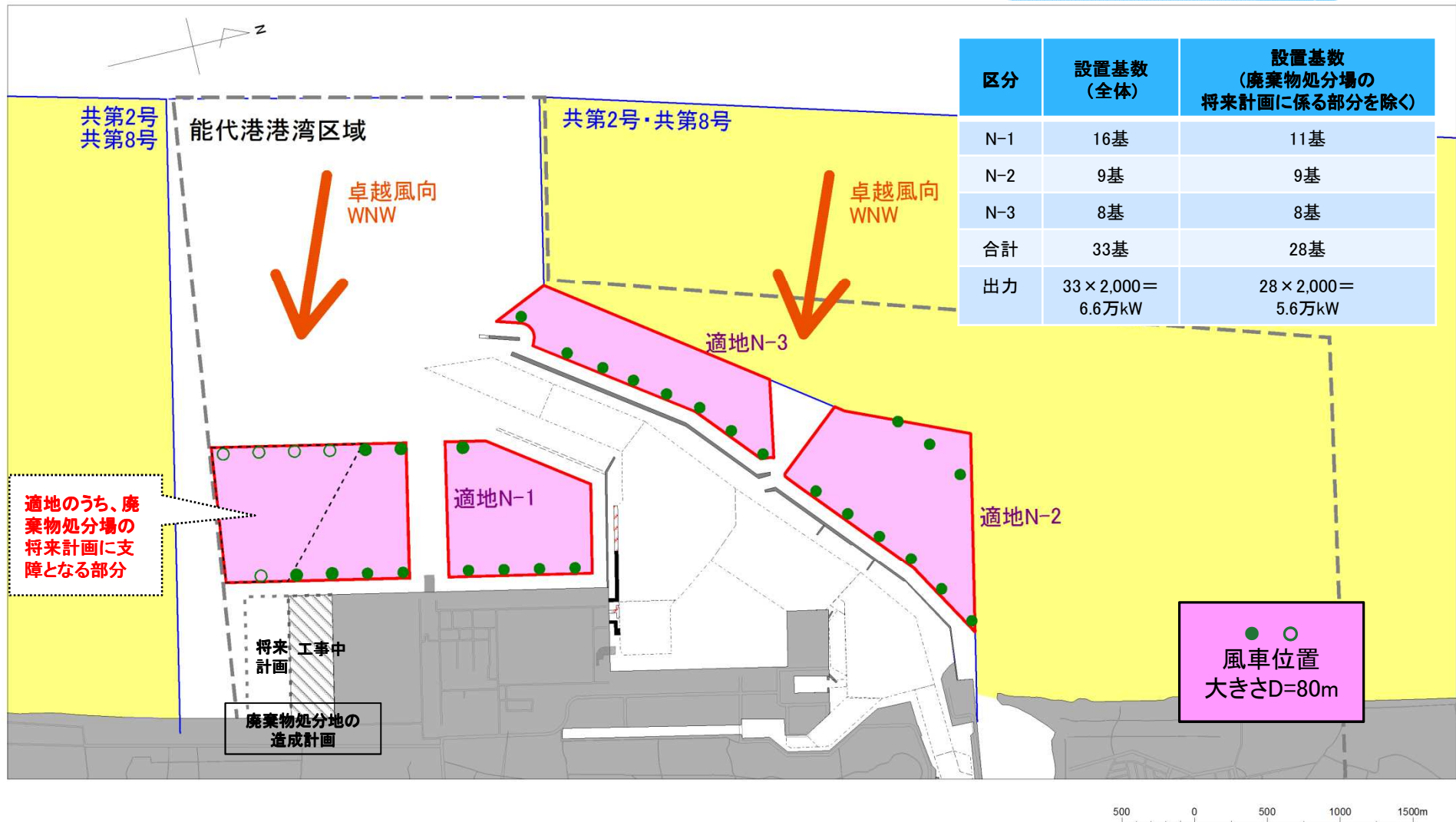
「漁港・漁場の施設の設計の手引き」に記載のあるプレジャーボートの最大船幅より5.4mとした。

(3) 能代港 適地の修正

適地の除外: 防波堤開口部前面の小型船航行ルート確保



(4) 能代港の風車配置例 (2,000 kW級)



(5) 能代港の風車配置例 (5,000 kW級)



500 0 500 1000 1500m

(6) 能代港 適地の設定

